

2024 年ヒラメ稚魚分布密度調査結果（太平洋）について

当研究所では太平洋における天然ヒラメの稚魚分布密度調査を1999年から行っており、2024年は7月23日、8月20日、9月11日に桁網（水工研Ⅱ型）を用いて三沢市沖8点で行いました（図1）。ヒラメの分布密度は桁網の漁獲効率を0.28とすると0-237個体/1,000m²の範囲にありました（表1）。採集したヒラメの全長組成は、7月23日に水深5mで30-49mm、7mで20-39mmが主体で、8月20日に水深5mで30-109mm、7mで40-119mm、9月11日に水深5mで40-159mm、水深7mで100-129mmとなっていました（図2）。水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、2024年は93（表1）で、1999年以降の平均値62を上回る水準でした（図3）。

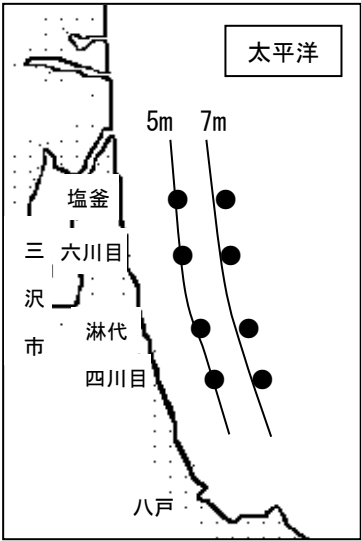


図 1 調査地点

表 1 ヒラメ稚魚分布密度

調査月日/調査点	水深								(個体/1,000m ²)	
	5m				7m				5m	7m
	四川目	淋代	六川目	塩釜	四川目	淋代	六川目	塩釜	平均	平均
2024. 7. 23	27	37	237	104	12	54	74	51	93	47
2024. 8. 20	-	-	-	21	-	-	-	36	21	36
2024. 9. 11	0	0	8	5	0	3	3	0	4	1

* 桁網の漁獲効率を0.28として算出した。

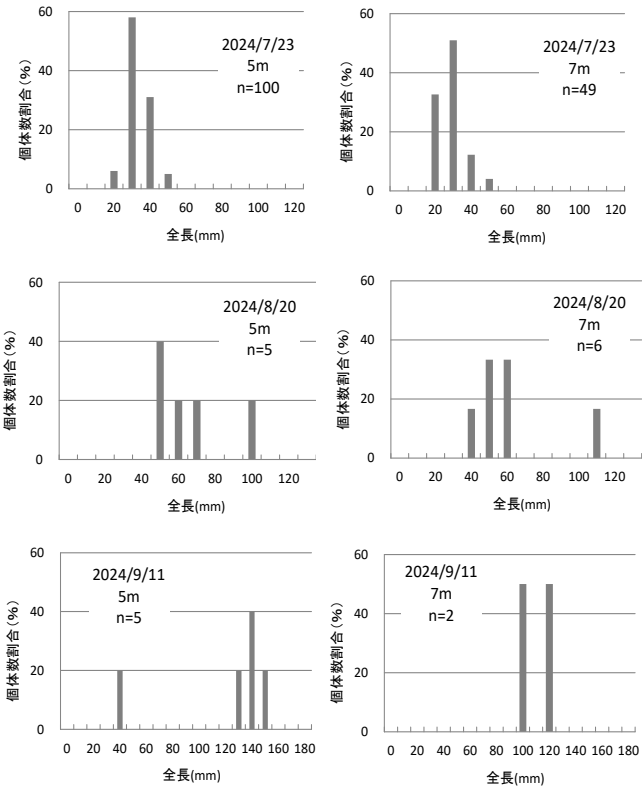


図 2 採集したヒラメ稚魚の全長組成

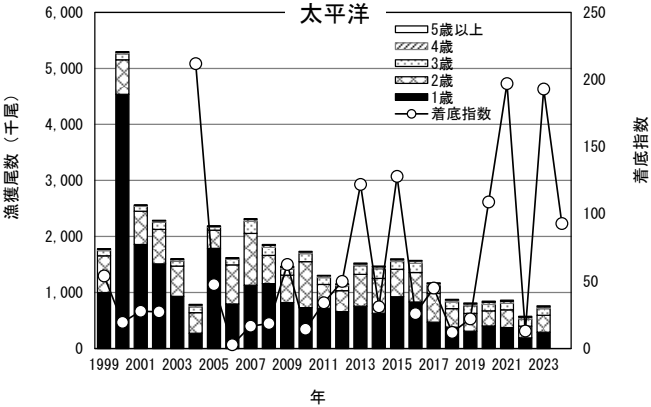


図 3 太平洋のヒラメ着底指数と年齢別漁獲尾数の推移